

1 授業時数特例校制度導入の考え

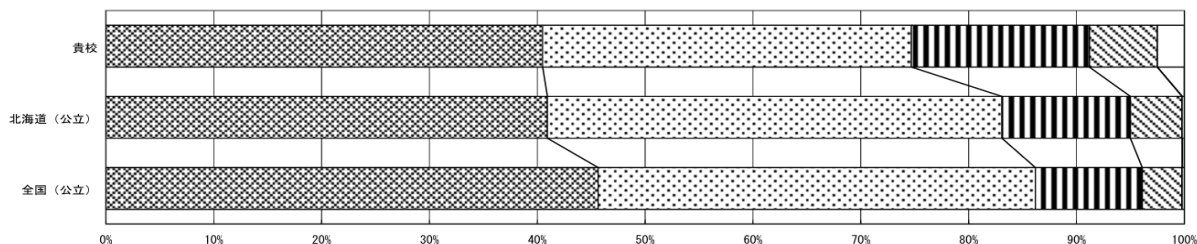
(1) 実施の目的

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する等の学びの土台となる資質・能力を育成することを目的とする。

(2) 解決を図る学校課題

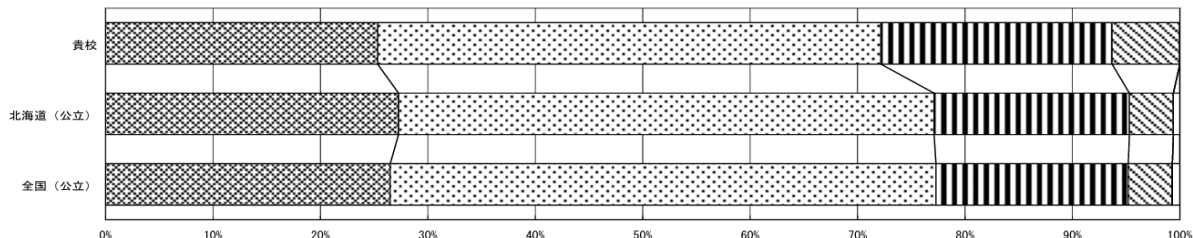
全国学調質問紙（12）学校に行くのは楽しいと思えますかの質問項目に本校の生徒は（1. 当てはまる）と回答した生徒が40.5%であり、全国と比較して5.1ポイント低い。さらに、どちらかといえば当てはまらない・当てはまらないと回答した生徒が22.8%であり、全国より9.2ポイント多い。学校が子どもたちにとって楽しいところになっていないことに課題がある。

	1	2	3	4
本校	40.5	34.2	16.5	6.3
全国	45.6	40.5	9.9	3.7



同質問紙（42）学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますかの質問項目に本校の生徒は肯定的回答をした生徒が72.1%であり、全国と比較して5.2ポイント低い。さらに、否定的回答をした生徒が27.8%であり、全国より5.8ポイント多い。他者と意見を交わして自己決定を図る資質・能力にやや課題がある。

	1	2	3	4
本校	25.3	46.8	21.5	6.3
全国	26.5	50.8	17.9	4.1



※教職員アンケートから生徒に課題のある資質・能力は規範意識、共感力、自治能力、計画的に実行する力等があげられ、時数特例を活用し、「学びの土台、学びを支える力」「自らの学習を調整する」を育成し、定着させる。

(3) 保護者・地域住民への周知

- ・年度当初の学校経営説明会、懇談会、学校だよりにおいて時数特例校制度について説明
- ・4月末の第1回学校運営協議会での内容説明
- ・地域への学校だよりの回覧及び学校運営協議会HPへの掲載

2 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年
各教科の授業時数	国語	140	140	105
		135 (-5)	135 (-5)	103 (-2)
	社会	105	105	140
		103 (-2)	102 (-3)	137 (-3)
	数学	140	105	140
		135 (-5)	103 (-2)	135 (-5)
	理科	105	140	140
		102 (-3)	135 (-5)	135 (-5)
	音楽	45	35	35
		45	35	35
美術	45	35	35	
	45	35	35	
保健体育	105	105	105	
	100 (-5)	100 (-5)	100 (-5)	
技術・家庭	70	70	35	
	70	70	35	
外国語	140	140	140	
	135 (-5)	135 (-5)	135 (-5)	
特別な教科である道徳の授業時数		35	35	35
		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
		50	70	70
特別活動の授業時数		35	35	35
		60 (+25)	60 (+25)	60 (+25)
合計		1015	1015	1015
学校行事		31	39	36
生徒会活動		5	4	4

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [1035 時間] 余剰時数 [20 時間]

第2学年の余剰を含めた総授業時数 [1029 時間] 余剰時数 [14 時間]

第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1021 時間] 余剰時数 [6 時間]